8. 4から7までに掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業に関する事項

「1]公共交通機関の利便性の増進及び特定事業の推進の必要性

(1) 現状分析

中心市街地は本市の玄関口にあたり、東武下今市駅は浅草方面と日光・鬼怒川方面をつなぎ、JR今市駅は宇都宮方面と日光方面をつないでいる。

東武日光線やJR日光線は首都圏と世界遺産を有する日光や鬼怒川方面つなぐ 路線で、年間を通して多くの利用客を有している。

一方、それぞれの駅を起点にバス交通網があり、周辺地域を結んでいるものの、 その利用者数は減少している。

(2) 公共交通機関の利便性の増進及び特定事業の推進の必要性

合併により市域が広がり、鉄道との交通結節点である中心市街地と市域内を結ぶ 公共交通機関の利便性の向上が求められている。

特に集落部では高齢化の進行、移動制約者の増加が予測されることから、中心市街地と周辺部を結ぶ公共交通機関のあり方が大きな課題としてあげられる。

(3) フォローアップの考え方

計画期間の各年度に各事業の進捗状況を調査し、状況に応じて事業の改善措置を講じる。また、計画期間の最終年度に、再度進捗状況を調査し、中心市街地活性化の効果を実証する。

[1] 具体的事業の内容

- (1) 法に定める特別の措置に関連する事業 該当なし
- (2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業該当なし
- (2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業該当なし
- (3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業該当なし

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、 内容及び 実施 実施時期	主体 目標達成のための何	位置付け及び必要性	国以外の支援措置の内容及び実施時期	その他 の事項
〇路の見業 〇中にる通化中内ス見う 〇半線ル直 内心人た機の心のの直。 実名バーし 容市がめ能た市路ルし 施名バーし 容市がめ能た市路ルし 施21~ 日本	事業 中心市街地に人が身 能強化のために、周 地を結ぶ路線バスの う。 これは、目標2「誰 ための生活サービス 商業の活性化」の達	辺地域から中心市街 フルート見直しを行 もが安心して暮らす ・生活環境の享受と	〇支援措置の 内容 単独事業 〇実施時期 H21~	

